

国内新製品紹介

ソニーのテープレコーダー “362B”

本機は放送局用録音機クラスのシンクロナスモーターを使用した3スピード(19cm/s, 9.5cm/s, 4.75cm/s)の家庭用Hi-Fi高級機である。シンクロナス・モーターを使っているため多少の電圧変動にも影響されることなく、テープ速度は一定している。したがってワウ、フラッターもきわめて少なく(1.9cm/sのとき0.2% RMS以内, 9.5cm/sのとき0.3%以内, 4.75cm/sのとき0.5%以内)、原音に忠実な再生が行われる。テープは7型まで使えるため、これで4.75cm/sのスピードをとれば往復4時間の録音・再生ができる。機構部はツマミ一つでできるシングル・コントロール方式である。またレバー操作により急停止をすることもできる。

プリアンプ部にはトランジスター(2SD64, 2SD65)を使い、ハム、ノイズを軽減している。出力は最大2.7W、無歪2.5Wである。マイク入力とプレーヤー、ラジオ、テープレコーダーなどの入力を3つの押ボタンを押すだけで切換えたり、ミキシングすることができる。マイクジャックは2つである。スピーカーは12×18cm 楕円型(VC インピーダンス8Ω)を用いている。S/N比は基準録音レベルにて41dB以上。消費電力は70Wである。外形寸法は幅430×高さ210×奥行400(mm)で、重量は約14kgである。



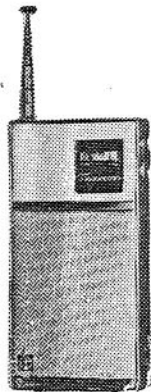
(東京都品川区北品川 Tel: 441-0161)

ソニー-K. K.

オンキョーの新製品2種

●ラジオつきC.B用トランシーバー“TCR-501”

近くわが国でもはじまるC.B(シチズンズ・バンド)用のトランシーバーで、それに540~1605kcのBCバンド受信機が組合わされたものである。送・受信周波数は27.125Mcで、発振も受信もクリスタル制御



になっている。使用のトランジスターは8石+1ゲルダイである。なお、本機についての詳細は本文記事をご参照ねがいたい。

●7石2バンド・ラジオ“7TR-800”

使用トランジスターは2SA60, 2SA49, 2SA53, 2SB54×2, 2SB56×2にゲルダイ1N60となっていて、受信周波数は535~1605kc, 3.9~12Mcとなっている。電気的出力は最大150mW、無歪100mWである。スピーカーは同社の特許であるノンプレスコーンの6cm丸型が使っている。電源は積層乾電池006P(9V)で、無信号時の消費電流はわずか8mAである。イヤホンを使うことも、外部スピーカーに接ぐこともできる。また本機の底部に、写真でごらんのような写真機用三脚をつけることもできるようになっている。外形寸法は横128×高さ73×奥行31(mm)で、重量は395grである。現金正価は¥8,850(ただし専用三脚は別に¥260)。

(大阪市旭区大宮西之町5の32)

Tel: 33-5631)

大阪音響 K. K.

アイワのクリスタル・マイク

“M-130”

小型・軽量のラベル・マイクである。軽合金のケースにおさまられ、碟につけて使用できるようクリップも備えている。マイクの直径は35mm厚さは10mmである。感度は-57dB(0dB=1V/μbar, 1000c/s)、無指向性である。負荷抵抗は1MΩ以上となっている。定価¥600。

(東京都千代田区神田元佐久間町4)

Tel: 83-9201)

アイワ K. K.

山水のステレオ・アンプ

“SM-80”

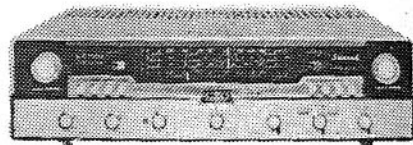
ステレオで40W-40W、モノなら80Wと

いう大出力の総合型アンプで、スーパーマイティSM-80と呼ばれるものである。使用真空管およびトランジスターは16球、14石で、その内容は6BE6×2, 6BA6×2, 6AQ8×2, 12AX7×2, 6AN8×2, 2SE5×4, 0A76×6, 2SB51×4, SE05A×2、それにTC. 0.2p 11/3セレン整流器×2となっている。

メイン・アンプ部の終段にはハイgm管2SE5ppが2チャンネルで、最大出力40W-40W、無歪出力33W-33Wである。周波数特性は10c/s~85kc(1dB以内)、歪率1%以内(出力33Wにおいて)、出力インピーダンス8, 16, 32Ωが各2組である。プリアンプ部の入力にはPHONO, (MAGとX-TAL), TAPE, MIC, AUXがあり、S/N比はMAG端子において46dB。トーン・コントロールはCR型、イコライザーはNF型である。

チューナーはch1か535~1605kcと3.5~10Mcの2バンドで、ch.2は535~1605kcのシングル・バンドになっている。B.Cバンドでは両チャンネルとも帯域幅が7kcと18kcの切替えができるようになっている。また、80~108McのFMチューナーもついている。帯域幅は200kc(-3dB)、感度は6μV以上(出力0.5Wにおいて)である。ステレオのバランス指示はバランス・メーターが使用され、同調指示にはチューニング・インジケーターが使われている。消費電力は105VA。

本機の外形寸法は幅540×奥行388×高さ133.2(mm)で、重量は23kgである。定価は¥61,200。



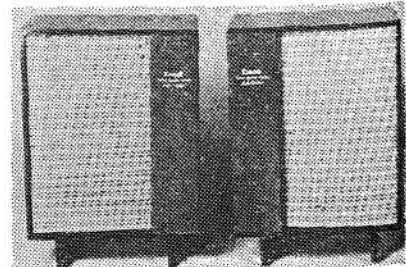
(東京都杉並区和泉町460 Tel: 328-0111)

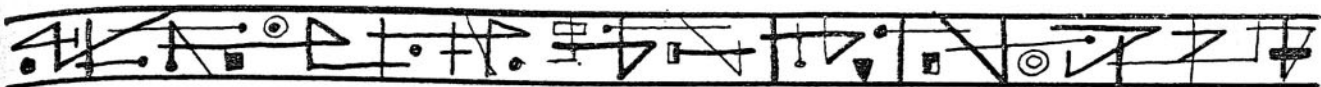
山水電気 K. K.

コーラルの新製品2種

●ステレオ用スピーカー・システム
“BX-5”

低音用に20cm ツーファ、高音用に6.5cm トゥイーターを使ったもので、それぞれ幅450×高さ700×奥行300(mm)のキャビネットに収められている。ネットワークも内蔵されていて、クロスオーバー3500c/s, 再生周波数帯





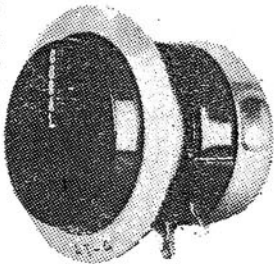
域は 50~16000 c/s となっている。プログラム・ソース入力は 10 W。小売価格は左右とも各 ¥12,050 である

●レベル・アッテネーター “AT-4”

L型定インピーダンス方式のアッテネーター

で、インピーダンスは 8Ω, 16Ω (OTL用) となっている。プログラム・ソース入力は 20 W (最大 30 W) 取付寸法は 36φ。小売価格は ¥880。

(ツミ、取付銘板、付属品とも)
(東京都北区堀船町 3-25)



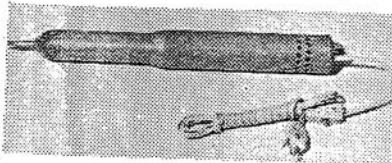
福洋音響 K. K.

ルックスの新製品 2 種

●ピンホール・テスター

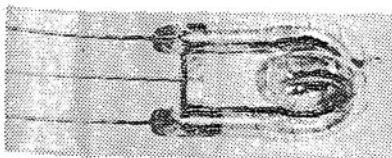
この道具は AC 100 V 電源にさしこむだけで次に列記するような用途に利用できるものである。1) 真空の洩れ個所の発見。2) メッキ、薄膜のきわめて小さい穴 (ピンホール) が検出できる。3) ガラスに封入して真空にしたものの真空不良が放電ですぐに検出できる。4) ビニール、ポリエチレン膜の印刷の場合の静電除去に用いきれいな印刷ができる。なお、このテスターには A, B の 2 種があり、その規格は次のとおりである。

	使用電力	火花の長さ	高周波出力	定 価
A 型	40 W	15mm 以上	25,000V 以上	¥ 12,000
B 型	60 W	20mm 以上	25,000V 以上	¥ 15,000



●ストロボ放電管 “FT-250 型”

これは高速撮影用の 2 重巻ストロボ放電管で、1 秒間に 1~100 回という露出に使用できる。従来のストロボは観測用にのみ用いられたのに対し、これは毎秒 50~100 という早い運動体の撮影に用いることができる。放電電圧は 210~250 V、使用電圧は 250~350 V、最大閃光：入力は 80 W/sec、尖頭光量：18,000,000 ルーメン、閃光時間 5~1,000μsec。寸法は直径 7φ、高さ 52 (±1)mm である。

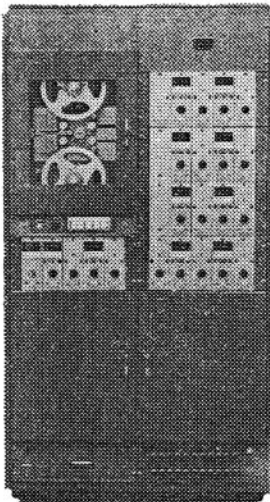


(東京都品川区南品川 6-1495)

ルックス電子工業 K. K.

TEAC の計測用磁気記録再生装置

本機はいろいろの分野の研究および実験において、同時に発生する各種の測定量を 7~14 のトラックに広い周波数範囲で記録し、任意の時間にその現象を忠実に再現することのできるものである。従って周波数分析、自己相関関数などの波形の解析を任意の時間に繰返して行うことができ、データの処理能力を飛躍的に増大させることができる。また記録時および再生時のテープ速度を適当に選ぶことによって波形の拡大および縮小ができ、ペン書きオシロと組合わせた場合、その応答度を実質的に高め、過渡時の波形を詳細に明示することなども容易に行える。写真に示した機械は防衛大学においてロケット・エンジンの研究に使用する目的で設計したもので、ロケット・エンジン運転時の推力、圧力、温度、音量などの過渡的現象を詳細に測定しようというものである。



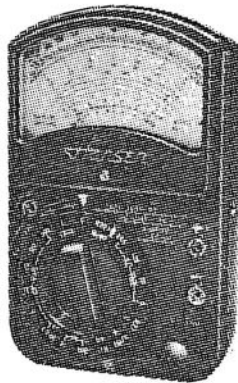
この装置は機構部と増幅部とより成っている。使用テープは 1/2" または 1" 幅のもの、リールは 10 1/2" か 14"。テープ速度は発注者の希望により、120", 60", 30", 7.5", 3 3/4", 1 7/8" の 6 速度のうち 1:2:4 の比になるような 3 スピードのものを作ることができる。

(東京都墨田区千歳町 2-16)

東京電気音響 K. K.

ハンセンの SM 型テスター

小型ながら高感度メーターを用いることにより高い入力抵抗を有し、また、他種のテスターには見られないオートマチック・クランプを備えている。メーター感度は 40 μA、内部抵抗：20,000Ω/VDC、10,000Ω/VDC、測定範囲：AC 0~6, 30, 120, 600V、DC 0~0.3, 6, 30, 120, 300, 600 V。電圧比：-15~+58 dB、直流電流：0~50μA, 12mA, 300mA。抵抗：R×1, R×100, R×1k (0.5Ω から 10 MΩ まで。電池自蔵)。絶縁抵抗：メガ 50k~1000 MΩ、静電容量：0.0001~0.6 μF (2レンジ)。自己誘導：20H~5kH。なお真空管のエミッション・



テスト用のチャートもついている。外形寸法は高さ 139×横 90×奥行 400(mm) で、重量は 400gr となっている。定価は ¥2,950。

(東京都千代田区神田神保町 3 の 3)

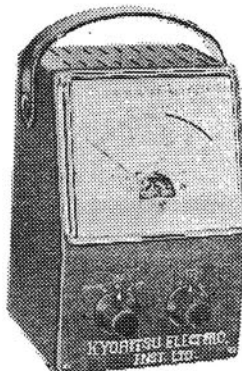
Tel: 301-1221)

ハンセン電機工業 K. K.

共立電気計器の定在波・高周波電力計

これは無線用送信機の調整のために必要な測定器で、その主な性能は下記のとおりである

MODEL	SWR 周波数	RF(W) 周波数
KHE-500	1:1~1:4 3 Mc~30 Mc (52 Ω/75 Ω) ±5%	0~15 W 3~50 Mc. 0~150 W (2レンジ)±15%
	1:1~1:4 3 Mc~30 Mc (52 Ω/75 Ω) ±5%	0~100 W (最大 150 W) 3~50 Mc 0~10 W (最大 15 W) ±10%
(R 型)		



定在波の測定は鎖電線および空中線のインピーダンスを 52Ω および 75Ω の 2 種類に分けスイッチで切替えて測定でき、また高周波電力は最大 150 W まで測定できる負荷抵抗が内蔵されている。52Ω の負荷抵抗は 3 Mc~50 Mc ま

で正確に補償されているので正しい指示が得られる。また指示器には大型メーターが使用してあるので簡単に読み取ることができる。KHE-500 型はアマチュア用に、KR-505 型はプロ用に設計されたものである。

(東京都目黒区中根町 120)

Tel: 717-0131~5)

共立電気計器 K. K.

不二研のコンデンサー

蛍光灯の中にフリッカーレス回路、ラビッドスタート回路などがあるが、それらの進相回路に使用されるコンデンサーである。



(東京都大田区南六郷 2-3)

Tel: 731-5600, 7636)

不二研究所 K. K.



ナショナルの新製品 4種

●8石2バンド “T-47”

高周波回路に 2SA103 を使い、さらに他励式周波数変換回路を使ってきわめて高感度なものをしている。使用のトランジスタは 2SA103×2, 2SA102×2, 2SB171×2, 2SB172×2, 0A70, MA23 で、受信周波数帯は 540~1600 kc と 3.9~10 Mc である。感度は

MW: 100
μV/m/5 mW, SW: 200 μV/m/5 mW。出力は無歪 150 mW, 最大 200

mW。電池は特単三の×4の 6V である。スピーカーには 6.5 cm 型を使っている。なお、本機には短波放送の受信を容易にするためにファイン・チューニング機構がついている。外形寸法は幅 158×高さ 94×奥行 36 (mm) で、重量は電池ともで 520 gr. 定価は ¥11,800。

●8石3バンド “T-66”

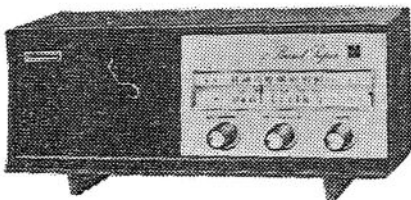
使用のトランジスタは 2SA102(周波数混合), 2SA103 (局発) 2SA55×2 (IF 増幅), 2SB171×2 (AF 増幅), 2SB176×2 (出力増幅) という内容で、受信周波数は MW₁: 540~1600 kc, SW₁: 3.15~7Mc, SW₂: 7~18Mc となっている。感度は MW: 18 μV/

m/10 mW, SW₁: 180 μV/m/10 mW, SW₂: 250 μV/m/10 mW。出力は無歪で 150 mW, 最大で 200

mW。スピーカーは 10 cm 型を使っている。トランジスタ・ラジオとしては大型の木製キャビネットに入っており、音質の向上をはかっている。また音質調整用のつまみもついている。さらに同調指示と電池の寿命測定兼用のマジックメーターが採入れられている。外形寸法は幅 309×高さ 185×奥行 87 mm で、重量は 2.1 kg. 現金正価は ¥16,500。

●5球2バンド・ルーム・ラジオ “BX-220”

12BE6, 12BA6, 12AV6, 30A5, 35W4 という配列のトランスレス 5球2バンド・ラジオである。受信周波数は 535~1605 kc, 3.75~12 Mc で、感度は MW: 80 μV/50 mW, SW: 80 μV/50 mW。電氣的出力は無歪 1.2 W, 最大 1.5 W である。消費電力は 23 VA。スピーカーは 10 cm が使われている。イヤホン・ソケットも



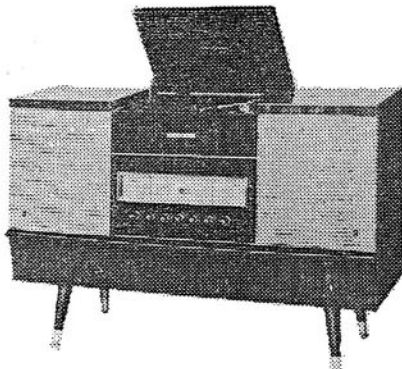
ついているから、静かに深夜放送を楽しむことができる。外形寸法は幅 334×高さ 148×奥行 134 mm で、重量は 1.8 kg. 現金正価は ¥5,900。

●ステレオ・アンサンブル “HE-64”

左右とも2バンドチューナのついたステレオ・アンプが採用されている。使用真空管は 6BE6×2, 6BA6×2, 6AV6×2, 6BM8×2, 6CA4, それに検波用として 0A79×2 となっている。ラジオ放送はもちろん、レコード演奏、テープ録音と再生、マイク再生などのすべてがステレオにもモノラルにも使える。受信周波数は左右両チャンネルとも 535~1605 kc, 3.8~12 Mc である。再生周波数 30~15000 c/s, S/N 比-60 dB, クロストークは -40 dB, 電氣的出力は最大 3~3 W, 無歪 2.5~2.5 W, 総合では 6 W と 5 W になる。

スピーカー・システムは 20 cm と 10 cm の 2 ウエイ方式が 2 個で、再生周波数は 70~15,000 c/s, クロスオーバーは 3,000 c/s, 許容入力 6 W, VC インピーダンスは 8 Ω である。プレーヤーにはパイプ・アームにセラミック・カートリッジを使用したステレオ用ピックアップ (プラグイン方式) を使っている。出力電圧は ST, LP, SP とも 0.25 V である。針圧は 9 gr. 再生周波数は 30~15,000 c/s, モーターは 4 スピードのインダクション・モーター、リムドライブ型である。回転調整範囲は 20%, 回転ムラは 0.35% 以内、ターンテーブルは 25 cm ゴムシートつきである。

総合しての外形寸法は幅 1192×高さ 825×奥行 294 (mm) で、重量は 32.8 kg となる。現金正価は ¥76,000。



(大阪府北河内郡門真町 Tel: 99-1151)

松下電器・ラジオ事業部

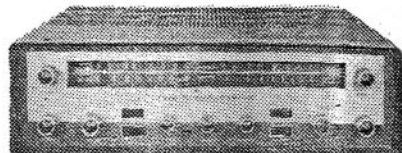
トリオの新製品 2種

●ステレオ・トライアンプ “W-38”

FM から短波放送まで入った、総合ステレオ・アンプで、これ 1 台であらゆる放送、レコードが楽しめるわけである。出力は 10W~10W で総合 20 W という十分な出力をもっている。なお、本機のもっとも特長とするところは、完全直流点火にしてあることで、レコードの入口の真空管を出力管のカソード電流で完全直流点火にしてあるためハム音は全く感じられない。またラウドネス・コントロールにより小さな音量でも十分な臨場感を出すことができるし、ランブル・フィルターにより不快なモーターのゴロなどの低い周波数での雑音を消している。

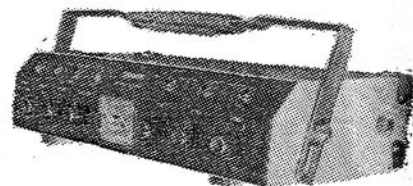
使用真空管は 6BE6×2, 6BA6×3, 6AQ8×2,

6AU6, 6AL5, 12AX7×3, 6BM8×4, 5AR4, 6DA5×2 で、受信周波数は FM: 80~108 Mc, AM₁: 535~1605 kc, AM₂: 535~1605 kc, SW: 3.8~10 Mc となっている。感度は S/N 20 dB に要する入力として FM: 2.6 μV, 94 Mc, SW: 6 μV, 8 Mc, AM: 6 μV, 1 Mc である。イメージ・レシオは FM: 30dB, 94 Mc, AM: 46 dB, 1 Mc, 利得は MAG: 3 mV, X-tal: 36 mV, AUX: 225 mV (いずれも 9 W 出力に要する入力電圧) である。出力は最大 10 W×2, 無歪 8.5 W×2, イコライザーは RIAA である。



●トランジスタ PA 用アンプ “TRA-15”

オール・トランジスタで出力 15 W の PA 用アンプである。真空管式とちがい使用直前にスイッチを入れれば同時に動作する。移動のための把手や自動車などに固定するための金具もついている。電源は交直両用で、しかも直流はバイブレーター・コンバータは不要で DC 12 V のバッテリーに直接つなぐだけで OK で、スイッチを切替えれば AC 100 V につなぐこともできる。入力端子はマイク 2 個とプレーヤー、テープレコーダー用端子 1 個で、それぞれの音量調節により同時ミキシングを行うことができる。またどんな場合にも確実なモニターができるよう高級 VU 計がついているし、全体の音量レベルはそれぞれの音量調整によらなくても、レベル調整でコントロールすることができる。使用のトランジスタは 2SB73×2, 2SB74×3, 2SB77×1, 2SB80×1, 2SB85×2, SDD-22×2 という 9 石 2 ダイオードのものである。出力は 15 W (高調波歪 5% 以下), 12 W (同じく 2% 以下) で、周波数特性は 30~15000 c/s (±2 dB), 利得はマイク: 2 mV, AUX: 0.2 V (各出力 10 W にて), S/N 比はマイク: 45 dB (入力 2 mV), AUX: 50 dB (入力 0.2 V) である。重量は 7.2 kg。



(東京都大田区調布千鳥町 74

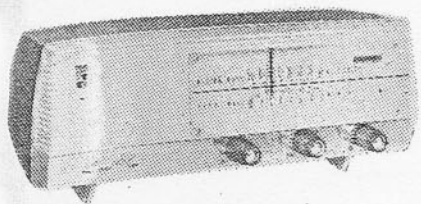
Tel: 751-7121)

トリオ商事 K.K.

サンヨーの新製品 4種

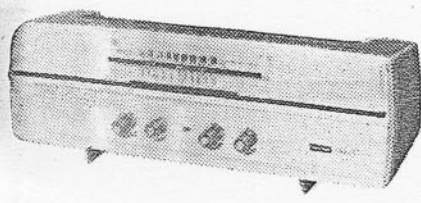
●2バンド・ホームラジオ “SF-27”

12BE6, 12BA6, 12AV6, 30A5, 35W4 の 5 球式で、受信周波数は 535~1605 kc, 3.8~12 Mc の 2 バンド、出力は無歪 1 W というホーム・ラジオである。スピーカーは 10 cm 丸型、消費電力は 29 VA である。外形寸法は幅 360×高さ 160×奥行 140 (mm) である。現金正価は ¥6,400。



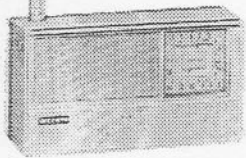
●2バンド・ホーム・ラジオ
“SF-49”

これは前記と同じ5球スーパーであるが、スピーカー 10 cm 丸型が2個ついている。前記の SF-27 型もそうであるが、バック・クローズ型と称し、機体の背面もプラスチック成形されたものを使っているため、背面も美しく、普通のラジオのように壁へ背をおしつけるように配置する必要もない。なお本機には音質切換えとして3段のトーン・コントロール・スイッチがついている。現金正価は ¥7,300。



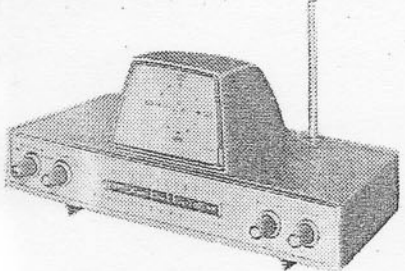
●7石2バンド・ラジオ “7S-P11”

受信周波数帯 535~1605 kc と 3.9~12 Mc の2バンド・ポータブルである。感度は MW; 250 μ V/m/10 mW, SW: 200 μ V/m/10 mW で、電気的出力は無歪 120 mW、最大 180 mW である。電源は積層乾電池 006 P (9 V)。スピーカーは 6 cm 型である。外形寸法は幅 116×高さ 66×奥行 33 mm で、重量は電池なしで 250 gr. である。現金正価は ¥9,000。



●タイマー式クロックつきホーム・トランジスター・ラジオ “6SC-10”

ラジオ部分は6石の2バンド・ラジオであるが、それにごらんのような時計を組み合わせた時計型になっている。この時計はタイマー・スイッチとしても動作し、ラジオのスイッチの ON-OFF を自動的にに行わしめることができる。現金正価は ¥15,500。



(大阪府守口市京阪本通 2-18)
三洋電機 K. K.

スタックスの新製品4種

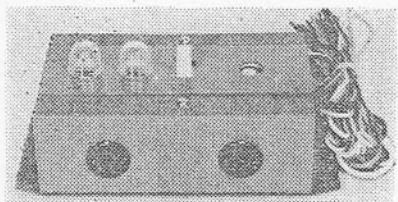
●イヤ・スピーカー “SR-1”

ステレオの普及にともない、スピーカーに代るヘッドフォンの需要も増えてきたが、このほど昭和光音では写真にごらんのようなコンデンサー型の高級受話器を完成した。これは僅かの間隙をもった2枚の固定電極の間にメタライズされた強靱な薄膜が適度な張力で張っており、これが静電気的作用により振動するものである。この SR-1 型はコンデンサー型のうちでも特に歪の少ないプッシュプル型で音域も広く、良好な過渡特性をもっている。電気容量は片耳約 80 pF で成極電圧は約 150 V DC である。周波数レンジは 20~20,000 c/s。定価は ¥6,000。



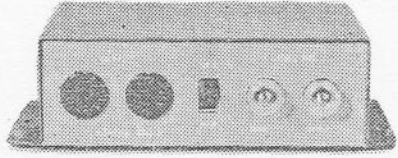
●アダプター “SRD-1”

前記 SR-1 使用のためのアダプターで、手持ちのアンプの出力トランス1次側に接続して用いる。但しプッシュプル・アンプでなくてはならない。成極電圧はアンプの B+ より供給し、その電圧は 200~400 V DC である。成極電圧の調整は B+ の電圧により調整ツマミの位置を選定するようになっている。外形寸法は 127×80×50 mm で、重量は 330 gr. 定価は ¥2,800。



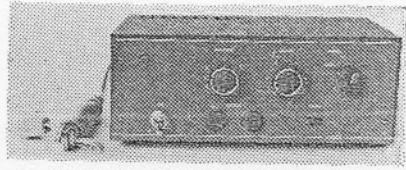
●アダプター “SRD-2”

これも SR-1 用で、ステップアップ・トランス2個を内蔵し、手持ちアンプのスピーカー端子に接続する。この場合メイン・アンプのスピーカー端子 8 Ω または 16 Ω を用いる。成極電圧電源は 100 V (AC)、50~60 c/s 0.3mA である。外形寸法は 125×80×50 mm で、重量は 650 gr. 定価は ¥2,800。



●専用アンプ “SRA-6S”

SR-1 イヤ・スピーカー専用のアンプで、入力感度がよく、3 mV の Mag. PU が使用できる。その他コンデンサー PU (250 mV)、クリスタル PU (200 mV)、AUX (200 mV) 等の入力端子を備えた応用範囲の広いステレオ、モノラル共用のアンプである。使用真空管は 12AX7×4, 12AT7×2, 6X4 で出力電圧は 180 V rms. (プッシュプル)、外形寸法は 233×160×100 mm で、重量は 2.15 kg. 定価は ¥12,000。

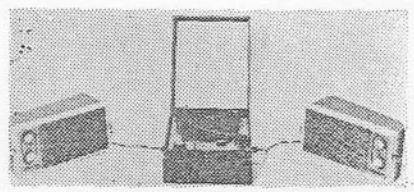


(東京都豊島区雑司が谷 1-68)
Tel: 971-3025)
昭和光音工業 K. K.

クラウンのポータブル電音

普及型のステレオ・ポータブル・プレーヤー STP-7 とポータブル・アンプ STA-8 とを組み合わせたものである。STP-7 は 33 $\frac{1}{3}$ 、45、78回転の3スピードのプレーヤーで、直流モーターを使っている。電源としては単一×6の9Vである。プレーヤーの外形寸法は 27.5×22.5×13.5 mm で、重量は 3.1 kg. である。

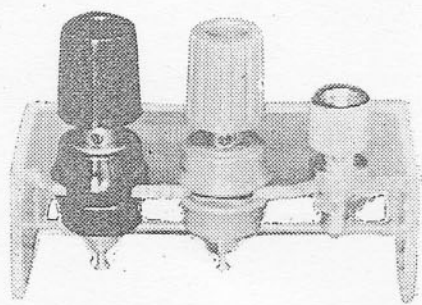
STA-8 型アンプは 2SB75×2, 2SB77×2 の4石にバリスター HV-16 を用いたアンプで、スピーカーは 10×15 cm 楕円型が入っている。出力は無歪で 400 mW、最大 600 mW である。外形寸法は 275×139×135 mm で、重量 1.6 kg である。これらをまとめて1個のスーツケース型のポータブルとすることができる。値段は STP-7 が ¥4,600。STA-8 は2個で ¥10,300。



(東京都台東区東黒門町 3)
Tel: 866-6271~5)
クラウン K. K.

サミットのバイディング・ポスト

写真にごらんのようなバイディング・ポストで、使用個所により黒、赤があり、いずれも良質のフェノールを用いているので耐電圧は 3,000 V 以上となっている。金属パネルに直接取付けても絶縁は完全で、金属露出部分は全くないから高電圧を印加したまま取っても危険はない。



(東京都品川区南品川 Tel: 491-5352)
K. K. 斎藤無線電機製作所